

「好きなことを、 とことん楽しめる家です」

今回の「暮らし探訪」は、屋根からちよこんと出ている煙突がカワイイM様邸。雑貨やハンドメイド手芸が好きな奥様のセンスが光る素敵なお家です。日が沈みかけ、涼やかな風が吹き始めた夕暮れ時にお邪魔し、暮らしの様子取材してきました。



手芸やハンドメイドが趣味の奥様の2階作業スペース。「真冬でも薪ストーブの煙突からの温もりがとっても暖かくて、つついウトウトしちゃうんです」と奥様。



Q1 家を建てる前に
思い描いていた暮らしは？

好きな雑貨が飾れたり、ミシンを置ける作業部屋がある家をイメージしていました。

Q2 笠原木材との
出会いや決め手は？

完成見学会に足を運んだのが最初のキッカケです。他の会社も見たんですが、木をたくさん使った家づくりに惹かれました。最終的な決め手は私のミシン部屋を考慮した間取りを提案してくれたことですね。

Q3 打合せはスムーズに
進みましたか？

決めることがその都度、色々あったんですが、材料や素材など選ぶ作業はすつこく楽しかったですね。

Q4 暮らししてみた感想は？

木をたくさん使ったので、温かい気持ちになります。薪ストーブがあるおかげで子どもたちが薪割りを手伝ってくれたり、火を見て、落ち着く〜って言うていたり、暖かさ以外にも子どもたちの五感を刺激してくれているみたいです。

Q5 こだわったポイントは？

建具や照明、外壁などは、こだわって自分のイメージに合うものになりました。あと、おじいちゃんが育てた木を梁や柱に使ってもらい、雰囲気を出しました。

11月8日(土) 飛騨・世界生活文化センターにて、奥様の作品を秋の「お散歩マルシェ」に出店する予定です。

